

## リスクマネジメントに関する年間取組み経過報告 総評

令和3年4月19日定例会

### 1, ぴっころ保育園 園長より

- ・どちらの保育施設でも「日中活動時間」「保育室内」「1～2歳児」に怪我が多くみられる。また、学童でも戸外より屋内（狭い空間）で怪我が多く発生している。狭い空間では、職員間で『誰かが見ていてくれる』という安心感が生まれやすいため、一人ひとりが意識を持って子どもたちを見守ることが大切である。

### 2, 花南わんぱく学童クラブ 所長より

- ・取組み報告期間は全施設統一した方が良い。

学童については、月別の目標設定が必要である。今後検討していく。

- ・目標や課題への取組み状況、具体的な怪我の状況等がわかると、より良い報告になる。
- ・記入の仕方が気になった。主語を抜かさず、読み手に誤解を与えない書き方で行うことが求められる。
- ・学童では保育園と違い、子どもたちの体が大きい分、ぶつかると怪我也大きくなるので更なる注意が必要である。

### 3, 理事長より

- ・各施設とも非常に良くまとまっている。
- ・今後もこのようなデータは収集しバージョンアップしていくと良い。
- ・課題に対しての対策、行ってみた結果までの記載を心掛けて欲しい。
- ・内容はホームページに掲載し公表する。

### 4, まとめ

- ・各施設とも継続的にリスクマネジメントに取り組むことで、令和2年度も重大事故が発生することなく、子どもたちを安全にお預かりできる施設としての責任と信頼が保たれた。
- ・今後も各施設の特徴や個性を生かしたリスクに対する取組みを報告し合うことで、気付きと共有感を持ち、法人全体としてリスクマネジメントに向き合い安全と安心を利用者や地域のみなさまへ提供できるよう努めていく。

記録

ぎんどろ保育園 園長 及川